

1982	昭和57年11月30日 新技術開発事業団選定課題「電池用隔膜の開発」 (湯浅電池(株)と共同)	昭和63年8月24日 イオン照射研究施設の建家着工	
	昭和58年2月1日 UNDP/IAEA/RCA天然ゴムラテックスの放射線加硫 に関する技術検討会を開催		昭和63年9月7日 繊維状吸着脱臭材を開発(株荏原製作所と共同)
	昭和58年3月25日 有機ガラス注形技術の用途を開発(日本光学工業(株)と共同)		平成元年3月29～31日 電子線による排煙処理国際ワークショップを開催
1983	昭和58年10月18日 耐放射性に優れた潤滑油及びグリースを開発 (株松村石油研究所と共同)	1989	平成元年7月24～25日 有機材料放射線効果国際会議を開催
	昭和58年11月 インドネシア天然ゴムラテックスCo-60照射施設の建設に協力		平成元年7月26～28日 天然ゴムラテックスの放射線加硫に関する 国際シンポジウムを開催
	昭和59年3月30日 高崎研究所開所20周年記念懇談会を開催(高崎市)		平成元年9月29日 新技術事業団と「難燃性ポリエチレンフォーム(連続気泡型) 製造技術の新技術に関する開発及び開発成果の実施に 関する契約」を締結
1984	昭和59年4月8日 岩動道行科学技術庁長官御視察	1990	平成元年11月27日 中曽根衆議院議員、中曽根参議院議員がイオン照射研究 施設の建設を視察
	昭和59年5月1日 インドネシア原子力庁(BATAN)と「放射線加工処理の 分野における研究協力に関する取決め」調印		平成2年2月1日 放射線照射利用研究委員会設置
	昭和59年6月19日 インドネシア原子力庁アヒムサ長官来所		平成2年3月20日 タイ原子力庁(OAEP)との「放射線加工処理分野における 研究協力に関する実施取決め」を締結
	昭和59年8月22日 沖縄県ウリミバエ照射施設の建設に協力		平成2年3月29日 国際交流会館竣工
	昭和60年2月25日 低エネルギー電子加速器設置		平成2年4月3～7日 放射線工学—RCA計画1992-1996に関するIAEA専門家 諮問会合(EAG)及び「UNDP/IAEA/RCA工業利用計画・ 放射線加工」に関する各国調整者会合(NCM)を開催
1985	昭和60年12月2日 竹内黎一科学技術庁長官御視察	1991	平成2年7月7日 クリーン豪科学技術大臣来所
	昭和60年12月16～19日 UNDP/IAEA/RCA工業利用プロジェクト 第1回放射線加工ナショナルコーディネーター会合開催		平成2年8月8日 大島友治科学技術庁長官御視察
	昭和61年1月1日 放射線高度利用研究委員会設置		平成2年10月18～19日 生体医用材料への放射線利用に関する国際シンポジウム を開催
1986	昭和61年4月20日 原研・大学プロジェクト共同研究検討委員会設置	1991	平成2年12月13日 ドイツ・カールスルーエ原子力研究センター(KIK)と「電子 線照射による排煙処理の研究協力に関する覚書」を締結
	昭和61年9月1～3日 UNDP/IAEA/RCA工業利用計画に基づく 天然ゴムラテックス専門家会合を開催		平成2年12月18日 ドイツ・重イオン研究所(GSI)と「イオンビーム利用分野に おける研究協力に関する覚書」を締結
	昭和61年10月15日 三ツ林弥太郎科学技術庁長官御視察		平成3年3月31日 イオン照射研究施設(第1期計画)竣工
	昭和61年11月25日 高精度アラニン線量計を開発(日立電線(株)と共同)		平成3年5月8～10日 「UNDP/IAEA/RCA工業利用計画・放射線加工」に関する 各国調整者会合を開催
1987	昭和62年6月12日 コバルト60照射施設第1棟改修工事	1991	平成3年5月13～24日 「UNDP/IAEA/RCA放射線化学地域訓練コース」を開催
	昭和62年11月10日 放射線高度利用研究第1回ワークショップを開催(本部)		平成3年6月24日 高崎研究所安全協議会設立
	昭和62年12月19日 マレーシア原子力庁(UTN)と「放射線加工処理分野に おける研究協力に関する実施取決め」を締結		平成3年6月28日 山東昭子科学技術庁長官御視察
1988	昭和63年6月16日 地元に対する第1回放射線利用研究報告会を開催		